

《平成19年度胃がん疫学調査成績》

表1 保健所別胃がん発見率と早期がん率

保健所名	性別		深達度		発見胃がん計	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	9	5	5	9	14	8,655	0.162	64.3
新発田	30	7	11	26	37	11,053	0.335	70.3
新津	13	4	6	11	17	5,354	0.318	64.7
三条	25	7	10	22	32	17,698	0.181	68.8
長岡	7	5	7	5	12	11,920	0.101	41.7
魚沼	15	9	5	19	24	9,541	0.252	79.2
南魚沼	5	8	0	13	13	5,562	0.234	100.0
十日町	7	10	3	14	17	6,520	0.261	82.4
柏崎	14	6	4	16	20	5,168	0.387	80.0
上越	30	9	4	35	39	13,670	0.285	89.7
糸魚川	6	0	2	4	6	3,284	0.183	66.7
佐渡	9	5	2	12	14	5,506	0.254	85.7
合計	170	75	59	186	245	103,931	0.236	75.9

※斜字は県平均よりも高い地域

図3 胃がん累積生存率 (S62~H17年発見)

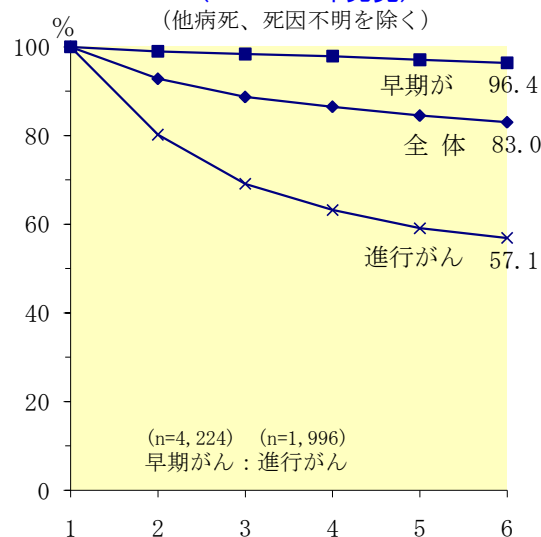


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)

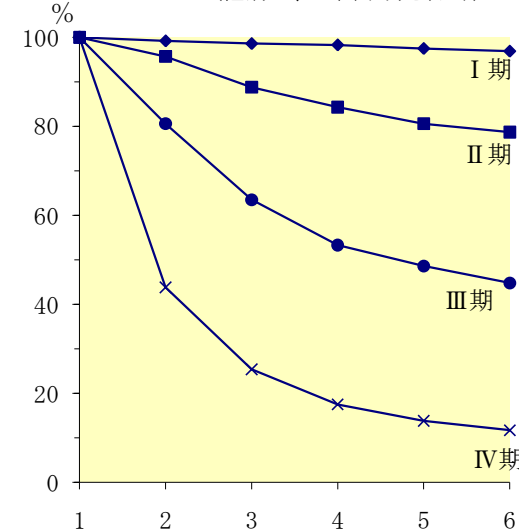
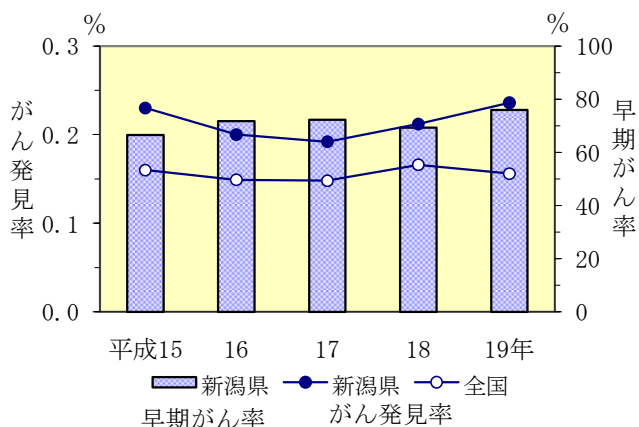
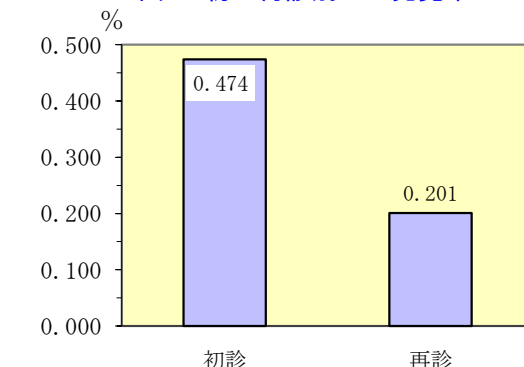


図1 がん発見率と早期がん率の年次推移



※「全国」は日本消化器がん検診学会全国集

図2 初・再診別がん発見率



胃がんを多く見つけるためには初診者の掘起しが重要。

表2 発見胃がんの予後 (S62~H17年発見分)

平成20年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	5,208	913	524	155	77	35	6,912
(%)	(75.3)	(13.2)	(7.6)	(2.2)	(1.1)	(0.5)	(100.0)

《平成19年度肺がん疫学調査成績》

表1 保健所別肺がん発見数と受診者数

保健所名	発見肺がん			受診者数			※ がん 発見率	I期 割合
	男	女	計	男	女	計		
村上	9	8	17	7,505	11,936	19,441	87.4	47.1
新発田	19	4	23	9,739	17,900	27,639	83.2	47.8
新津	6	4	10	3,650	6,146	9,796	102.1	80.0
三条	17	13	30	13,083	22,995	36,078	83.2	63.3
長岡	16	11	27	10,089	19,830	29,919	90.2	55.6
魚沼	8	7	15	6,763	11,153	17,916	83.7	53.3
南魚沼	3	1	4	4,555	7,220	11,775	34.0	100.0
十日町	7	4	11	5,706	9,160	14,866	74.0	18.2
柏崎	10	4	14	6,573	11,219	17,792	78.7	71.4
上越	14	6	20	8,788	16,540	25,328	79.0	75.0
糸魚川	0	0	0	1,934	3,968	5,902	0.0	—
佐渡	5	0	5	5,156	8,287	13,443	37.2	60.0
合計	114	62	176	83,541	146,354	229,895	76.6	58.5

※がん発見率は受診者10万人対

図3 肺がん累積生存率
(S63~H17年発見)
(他病死、死因不明を除く)

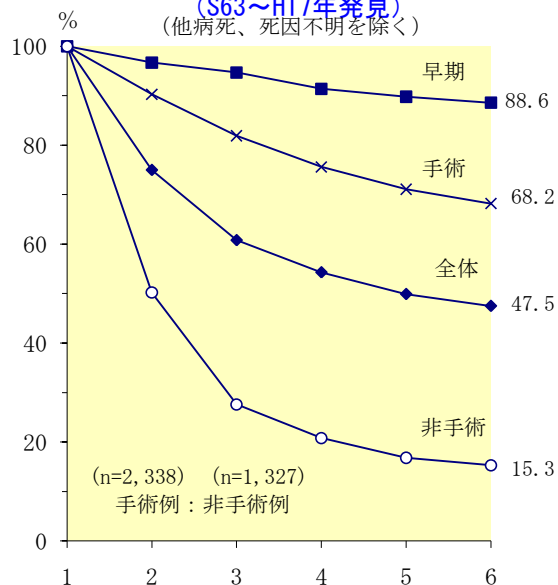
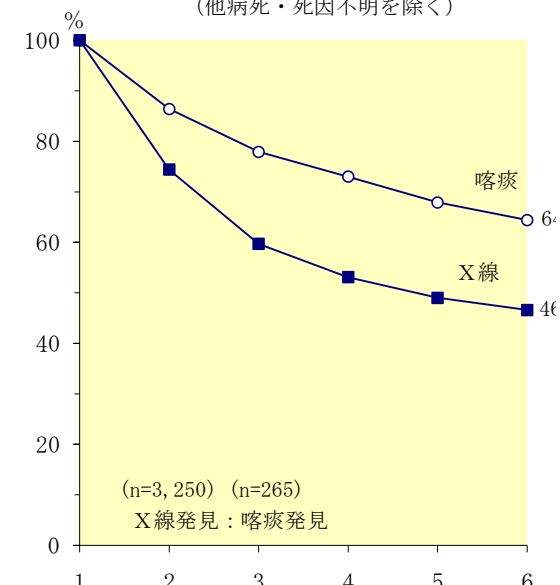


図4 発見方法別累積生存率
(他病死・死因不明を除く)



喀痰細胞診は早期発見が多く、生存率も高い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

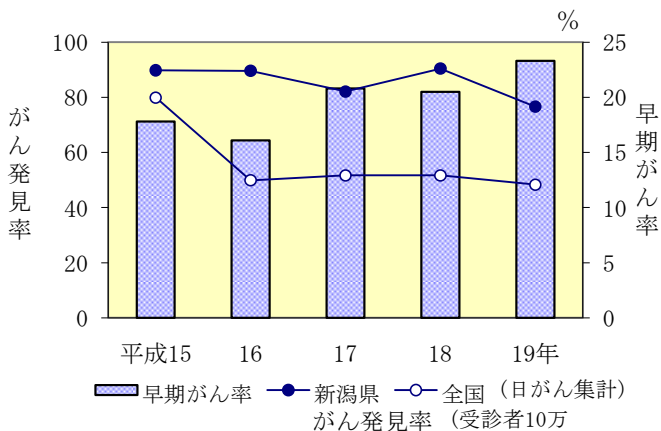


図2 一般群、高危険群別がん発見率
(受診者10万人対)

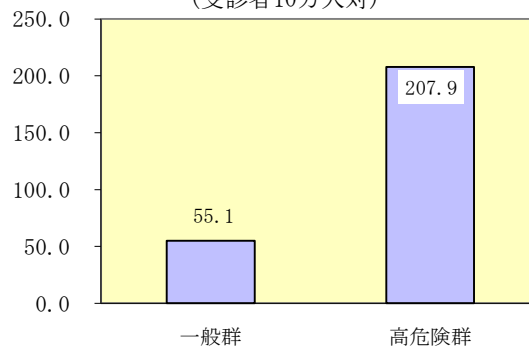


表2 発見肺がんの予後(S63~H17年発見分)

平成20年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	1,905	1,656	315	295	55	49	4,275
(%)	(44.6)	(38.7)	(7.4)	(6.9)	(1.3)	(1.1)	(100.0)

《平成19年度子宮がん疫学調査成績》

表1 保健所別子宮がん発見数と受診者数

保健所名	頸がん		体がん	がん発見数	不適正標本数	受診者数	※がん発見率
	浸潤	上皮内					
村上	0	0	0	0	99	2,171	0.0
新発田	0	4	0	4	4	4,633	86.3
新津	0	1	0	1	0	1,604	62.3
三条	0	5	1	6	209	9,840	61.0
長岡	3	3	0	6	500	4,306	139.3
魚沼	0	2	0	2	157	3,294	60.7
南魚沼	0	2	0	2	0	2,163	92.5
十日町	0	3	0	3	0	2,198	136.5
柏崎	0	1	0	1	50	2,109	47.4
上越	3	5	0	8	1	10,667	75.0
糸川	0	0	0	0	35	1,634	0.0
佐渡	0	3	0	3	0	1,799	166.8
合計	6	29	1	36	1,055	46,418	77.6

※がん発見率は受診者10万人対

図1 がん発見率と早期がん率の推移%

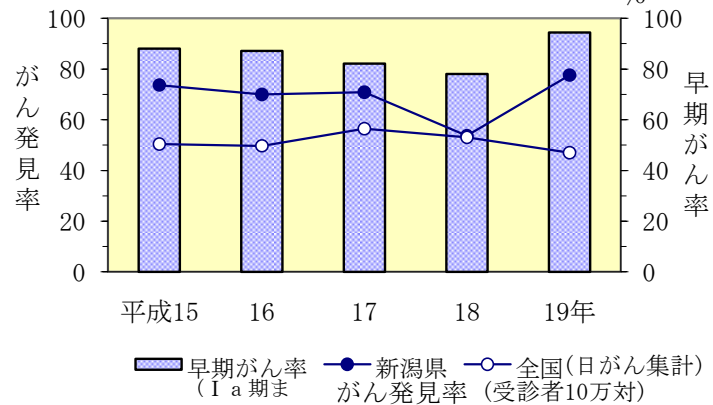
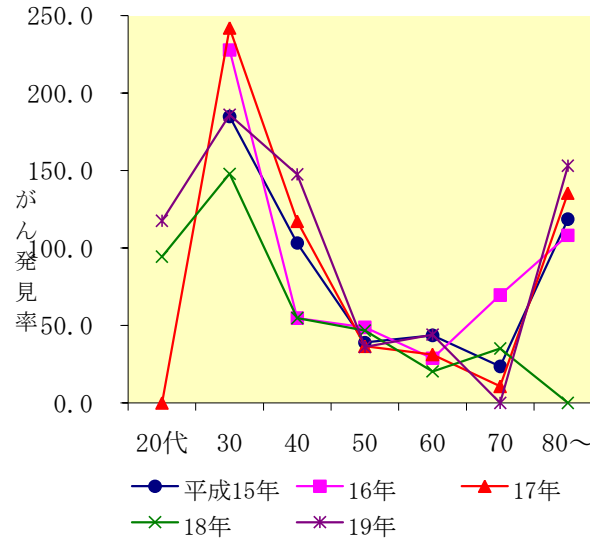


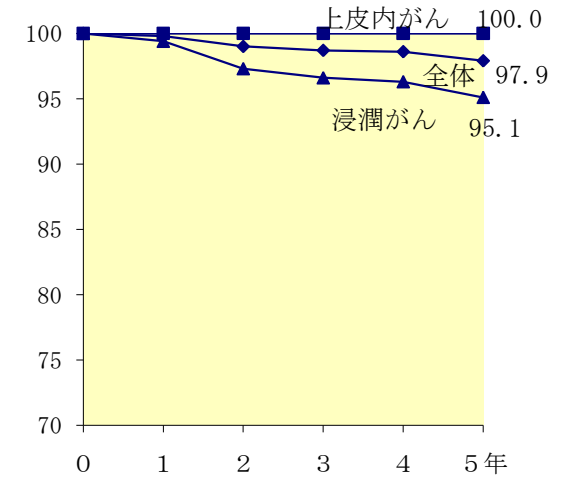
図2 年代別子宮がん発見率 (受診者10万人対)



30代の発見率が高いので、特に若年者への受診勧奨が重要。

図3 子宮がん累積生存率

(S62~H17年発見)
(他病死、死因不明を除く)



《平成19年度乳がん疫学調査成績》

表1 保健所別乳がん発見数と受診者数

保健所名	がん発見数		受診者数		がん発見率	
	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用
村上新新三長魚南十柏上糸佐	0	1	1	2,214	0.000	0.045
発田津	—	9	—	2,981	—	0.302
条	0	9	1	1,612	0.000	0.558
岡	2	17	3,985	5,856	0.050	0.290
沼	—	13	—	4,273	—	0.304
魚沼	0	7	7	3,437	0.000	0.204
沼	0	8	2	1,919	0.000	0.417
町	0	5	2	2,230	0.000	0.224
崎	0	2	168	1,544	0.000	0.130
越	8	9	4,096	4,143	0.195	0.217
川	1	5	237	1,813	0.422	0.276
渡	—	7	—	1,931	—	0.363
合計	11	92	8,499	33,953	0.129	0.271

マンモ併用乳がん検診は視触診のみと比べ約2.4倍の発見率である。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

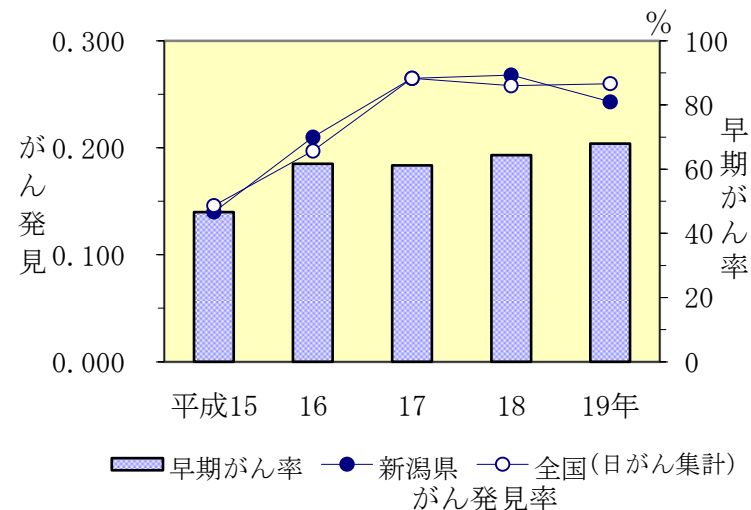
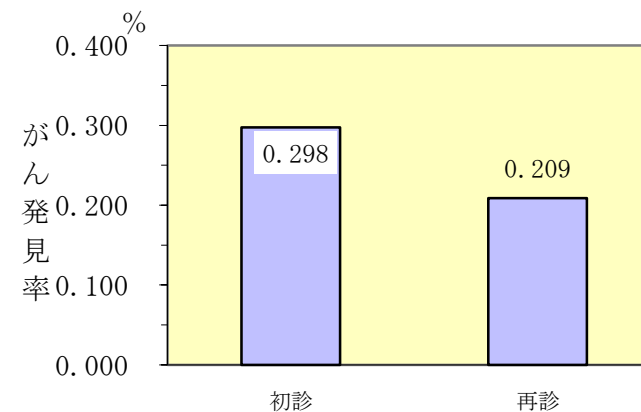


図2 初・再診別がん発見率



《平成19年度大腸がん疫学調査成績》

表1 保健所別大腸がん発見率と早期がん率

事務所名	性別		深達度		がん発見数	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	13	4	5	12	17	8,315	0.204	70.6
新発田	17	9	9	17	26	12,452	0.209	65.4
新津	9	6	5	10	15	6,164	0.243	66.7
三条	40	27	14	53	67	21,995	0.305	79.1
長岡	14	22	8	28	36	12,957	0.278	77.8
魚沼	17	11	12	16	28	9,797	0.286	57.1
南魚沼	7	6	4	9	13	8,026	0.162	69.2
十日町	15	6	4	17	21	8,603	0.244	81.0
柏崎	10	6	6	10	16	7,903	0.203	62.5
上越	16	11	11	16	27	16,057	0.168	59.3
糸魚川	3	7	3	7	10	4,111	0.243	70.0
佐渡	7	4	5	6	11	5,073	0.217	54.5
合計	168	119	86	201	287	121,453	0.236	70.0

※斜字は県平均よりも高い地域

図3 大腸がん累積生存率 (H5~H17年発見) (他病死、死因不明を除く)

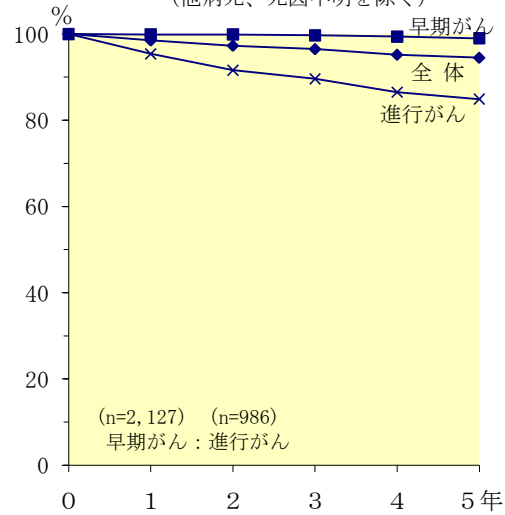
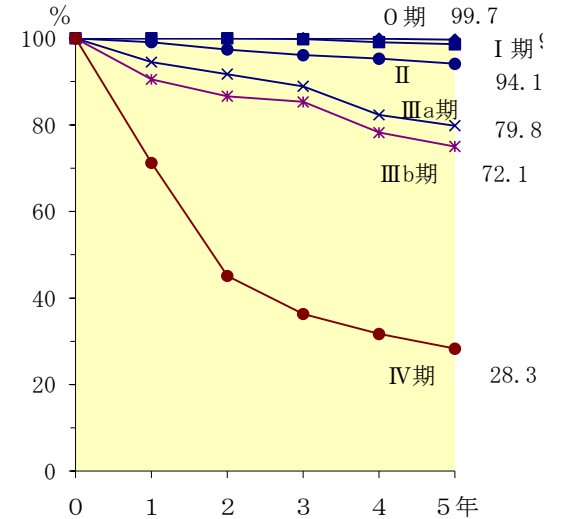
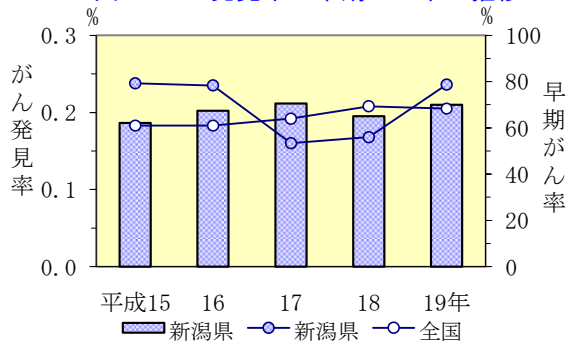


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)



全体の5年生存率が94.5% (進行がんでも84.9%)で非常に予後が良い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移



※「全国」は日本消化器がん検診学会全国集計値

図2 初・再診別がん発見率

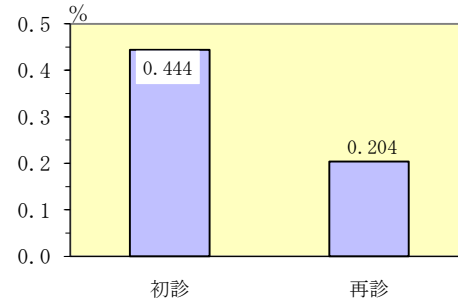


表2 発見大腸がんの予後 (H5~17年発見分)

平成20年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	2,933	143	145	107	36	3	3,367
(%)	(87.1)	(4.2)	(4.3)	(3.2)	(1.1)	(0.1)	(100.0)